

2019年3月26日

報道関係各位

一般社団法人電子情報技術産業協会

「第4回 JEITA ベンチャー賞」受賞3社が決定
— Society 5.0 の実現に向けた、ベンチャー企業との共創・連携を促進 —

一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA：代表理事/会長 柵山 正樹）は、本日、「JEITA ベンチャー賞」の受賞企業、3社が決定したことを発表しました。JEITA ベンチャー賞は、電子情報技術産業の総合的な発展のみならず、経済発展に貢献しうるベンチャー企業を表彰するもので、過去には株式会社 Preferred Networks や株式会社 MUJIN、株式会社 ABEJA など気鋭のベンチャー企業、計 21 社が受賞しており、本年が 4 回目の取り組みとなります。今回も「JEITA ベンチャー賞審査委員会」が成長性（先導性）、波及性、社会性の 3 つの視点からベンチャー企業を審査・選考した結果、第 4 回 JEITA ベンチャー賞はアイオーコア株式会社、株式会社 AI Samurai、株式会社 ナノルクスの 3 社が受賞しました。

JEITA では現在、Society5.0 の推進、および CPS/IoT の社会実装による新たなビジネスの創出によって、業界をさらに発展させることを目指し、事業を展開しています。JEITA ベンチャー賞はその取り組みの一環であり、IT・エレクトロニクス業界の発展に繋がるベンチャー企業を支援するとともに、JEITA 会員企業とスタートアップ（優良ベンチャー）企業との共創・連携・エコシステムの構築支援を目的としたものです。受賞企業が JEITA への入会を希望する場合は、「ベンチャー優遇特例制度」（JEITA ベンチャー賞を受賞した企業等が正会員として新規に入会する場合、申請により協会会費の負担を 2 年間免除する仕組み）を活用することができます。これまでの受賞企業のうち、現在 9 社がベンチャー優遇特例制度を利用して JEITA の正会員として活動しており、その中には、新たな産業の可能性を探る活動を支援する制度「JEITA 共創プログラム」を活用して、コンソーシアムを設立した企業もあります。

今回受賞した 3 社のベンチャー企業は今後、JEITA の活動に参画いただくほか、Society 5.0 の実現を目指す CPS/IoT 総合展「CEATEC」への出展や JEITA が主催するシンポジウムやセミナーなどへの登壇、さらには JEITA 会員企業との交流支援などの特典が授与されます。

JEITA はベンチャー企業との共創・連携を促進し、Society 5.0 および CPS/IoT の社会実装をさらに推進していくことで、わが国が直面する社会的課題の解決と新たなビジネスの創出を目指してまいります。今後の取り組みにつきましては、随時発表いたします。

【本件に関するお問合せ先】

一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA) 企画管理部 広報室

TEL : 03-5218-1053 E-mail : press@jeita.or.jp

【受賞企業 3 社と審査評価の概要】（社名五十音順）

アイオーコア株式会社

代表者：藤田 友之（代表取締役社長 CEO）

本社所在地：東京都文京区関口 1-47-12-301

【審査評価】

アイオーコア株式会社は、かつてない小型、高速かつ省電力のオンボード型光トランシーバ“光 I/O コア”を開発し、今年度からユーザにサンプル出荷を開始している。光 I/O コアは 100Gbps という高速かつ大容量の情報転送が可能な世界最小の 5 mm 角モジュールであり、将来は 400Gbps まで性能向上できる拡張性を有している。光 I/O コアは、データセンター内のサーバラック間あるいはサーバボード間の情報伝送への実装されるものであり、広範囲な適用性と多様なメリットが考えられることから、今後さらに発展する情報化社会を下支えする重要な基盤集積モジュールとして期待される。よって、JEITA ベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

株式会社 AI Samurai

代表者：白坂 一（代表取締役社長 CEO）

本社所在地：東京都千代田区大手町 1-6-1 大手町ビル 4 階

【審査評価】

株式会社 AI Samurai は、AI（人工知能）を搭載した特許審査シミュレーション・システムを開発、実用サービスの提供を始めた。本システムは、米国および日本の特許データベースと照合し、出願前の特許の類似文献を調査し、当該特許の登録可否を自動判定する。研究開発者にとって重荷だった特許出願時の類似文献調査の負荷を大幅に低減することにより、発明者はより創造的な研究活動に専念できる。多くの研究開発者の手助けになることが期待される。よって、JEITA ベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

株式会社ナノルクス

代表者：祖父江 基史（代表取締役社長）

本社所在地：茨城県つくば市千現 2-1-6

【審査評価】

株式会社ナノルクスは、産総研で開発された赤外線カラー暗視技術を事業展開している。従来はモノクロのみであった赤外線暗視カメラの取得画像の近赤外分光スペクトルに着目し、本来の可視光スペクトルとの相関を見出し、それを分析・学習することで、近赤外スペクトル画像をカラー映像化することを可能にしたものである。現在、監視カメラ、防犯カメラ、見守りカメラとして商品展開しており、ヘルスケア、個体認証、環境センシングなどへの応用も期待されている。よって、JEITA ベンチャー賞に相応しい企業と判断した。